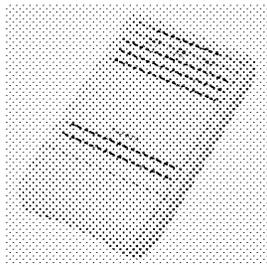


無線LANで工場機器を制御

コンテックの業務用無線LAN製品でFX5000シリーズの「FXA5000」



コンテック（大阪市西淀川区、西山和良社長）は、同社の業務用無線LAN製品が、センサーや製造装置といった工場内機器の制御用途で活用できるという認証をCC-Link協会（CLPA、名古屋市北区）から取得した。工場のスマート化などではネットワークの無線化が有効だが、一般的な無線LANでは通信品質が悪化し導入が難しかった。コンテック

コンテックが認証取得 スマート化に貢献

は認証取得を製品の拡販に生かす。

業務用無線LAN機器「FLEXLAN FX5000/FX3000シリーズ」が、CLPAから「CC-Link I ETSN推奨無線機器試験」の「無線認証クラスAカテゴリーC1R1認証」を取得した。無線機器で同認証を取得するのは業界初という。

FX5000、同3000シリーズでは電波帯域の混雑や干渉で発生するジッタ（通信遅延時間変動）や遅延を、独自のチューニング技術で抑えた。工場内の制御用途でCLPAから認証されたのを機に、両シリーズの売上高を2027年度までに現状比2倍に伸ばす考え。